

事務局だより

今年の暑さは尋常ではないと感じます。それは、地球温暖化の影響であることはもはや疑う余地がなく、今すぐに手を打たなければ取り返しのつかないことになりそうです。しかし現状は厳しい状況で、ずるずると時が過ぎて行くばかりという感じです。いったいこの先どうなっていくのでしょうか？・・・

さて、HF・VHF帯で交信を楽しむのに重要な要素であるお空のコンディションについてですが、**サイクル25**は、もしかするとすでにピークを過ぎたかもしれないと言われています。ですが、まだ十分に良いコンディションですので、もうしばらくはDX（遠距離）交信を楽しめると思われます。また、春から夏場にかけて発生するEスポ（電離層のスプラディックE層）は、発生頻度が落ちて行く時期になっています。

■ サイクル25とは

太陽の活動は約11年周期で変動していて、黒点数の増減やフレアの頻度、太陽風の強さなどに表れます。今は、太陽表面に現れる黒点活動観測が始まった1755年の第1期から数えて25期目にあたり、サイクル25と呼ばれています。

太陽活動の一指標である黒点数は2022年から増え始め、昨年は200台から300に迫る状況という時期もありました。そのような状況下では、電離層密度が高まり、短波の電波は電離層で低損失で反射され、遠方にまで良好に届きます。

さて、今年度も残るすこる4ヶ月余りとなりました。毎度同じパターンで恐縮ですが、ここでこれまでの当クラブの活動を振り返ってみたいと思います。

2025年度 1月～8月の活動

期 日	事 業 名	会 場
R7. 1. 18 (土)	2025年度（令和7年度）総会	中田農村環境改善センター
R7. 2. 5 (水)	オンエアーミーティング	—————
R7. 3. 5 (水)	定例会 及び 技術講習会	中田農村環境改善センター
R7. 4. 5 (土)	定例会 及び 技術講習会	〃
R7. 5. 5 (月)	定例会、フォックスハンティング実行委員会	〃
R7. 5. 25 (日)	第50回モービルフォックスハンティング	迫兵糧山公園駐車場
R7. 6. 5 (木)	オンエアーミーティング	—————
R7. 7. 5 (土)	定例会	中田農村環境改善センター
R7. 8. 1 ～ 31	マラソンコンテスト	—————
R7. 8. 18 (月)	事務局だより発行	—————

● 総会 … 1月18日（土）

定期総会は当初の予定通り1月18日（土）に開催され、スムーズに新年度のスタートを

切ることが出来ました。

当日は6名の参加で、2024年度の事業報告・収支決算報告、2025年度の事業計画・収支予算案について審議が行われ、第1号議案（2024年度事業報告、収支決算報告）と第2号議案の2025年度事業計画案は原案のとおり承認されました。また、第2号議案の2025年度収支予算案については、モバイルフォックスハンティングの予算を増額修正した上で承認されました。第3号議案（役員改選）については全員再任となりました。



● 定例会・オンエアーミーティング

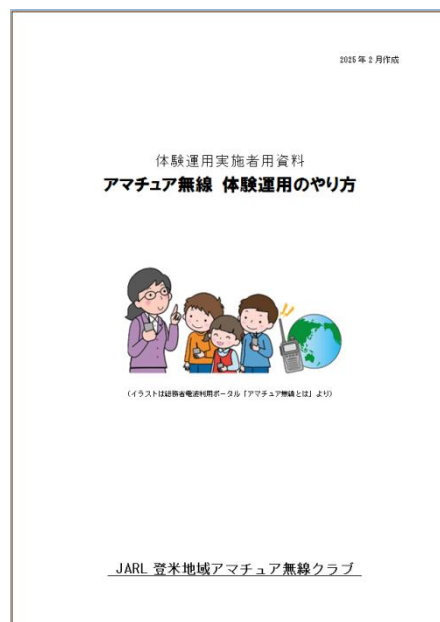
新型コロナ等の感染症に翻弄されることがなくなり、定例会は当初の計画通りに実施出来ています。ただし、これまでも何度もお知らせしているとおり、相変わらず参加者はほんの数名で寂しい状況が続いています。オンエアーミーティングについても同様です。皆さんそれぞれに諸事情があるとは思いますが、出来る限り参加いただければ幸いです。

● 技術講習会・・「アマチュア無線 体験運用のやり方」・・3月5日(水), 4月5日(土)

会員からのリクエストもあり、今年度はクラブの移動運用時に体験運用も併せて行えるようにする計画となっています。そのため、この機会に体験運用について理解を深めておきたいということでこのテーマ設定となりました。

技術講習会当日は、当クラブ事務局が作成した「体験運用実施者用資料」と「体験運用者用資料」を使い、体験運用の具体的なやり方や留意点等を把握・確認しました。

なお、体験運用は個人局でも行えますので、今回の講習会の資料（全会員に配布済）とそれで得た知識を生かして、興味を持つ方々（家族や友人・知人、職場の同僚、あるいは地域の皆さんなど）に対して、個人局として体験運用を提供するのにも役立つものと思います。



● モービルフォックスハンティング … 5月25日（日）

今回は、大会の2・3日前の天気予報では、大会当時は本降りの雨模様と予想されており、開催が危ぶまれる状況だったため、主催者側としては非常に気をもみました。

いざ当日になると、受付準備を始めたころには小雨模様だったものの、その後間もなく雨が止み、当初の予定通りに大会を実施できる状況となりました。

なにせ、コロナ禍以降は全日程を屋外で行うことにしているため、天候は大問題なわけで、無事に開催できて胸をなでおろした次第です。

エントリーは12チーム・14名と、久々に2ケタの参加数となり、まあまあ賑やかな大会となりました。内訳は、1エリア方面から9チーム・10名、当クラブから3チーム・4名の参加でした。毎回のことですが、今回も当クラブ員以外の地元勢の参加は皆無でした。この点は残念至極です。

ハンティングの状況等については以下のとおりです。

集合地点（スタート地点）は、昨年・一昨年と同じ兵糧山公園駐車場（登米市迫町北方）でした。FOXの方はどちらも1名体制で、FOX1はJA7IUXが担当、FOX2はJR7SWLが担当でした。また、本部はJH7FBXとJL7JASの二人でした、従って今大会は計4名での運営ということになりました。

毎回のことですが、クラブ事務局は運営メンバーの確保には大変苦慮しており、今後、これまでどおりの内容・体制で大会を開催するのはかなり厳しい状況といえます。

さて、問題のFOXの場所ですが、FOX1は石越町の海上親水公園西端の駐車場奥、スタート地点（兵糧山公園駐車場）から直線で北北東方向7.4Km、道なりで約14Km（20分）の所でした。また、FOX2は豊里町の豊里笑沢自然公園（通称は栗公園）、スタート地点から直線で南東方向13.5Km、道なりで約18.5Km（28分）の所でした。

その配置で、FOX1とFOX2は直線で約16.5Km、道なりでおよそ20.5Km（30分）ということになっていました。出発地点からFOX1、FOX2の順で回り、再び出発地点に戻るルートの場合、道なりの最短距離は約39Km、時間にすると1時間程度を要することとなる配置です。

今回のFOXの配置では、FOXどうしでの信号確認・交信は出来ない状況でしたが、それぞれ事前に決めたとおりのタイミングで電波を発射してその役目を果たしました。FOX担当者は、お互いに若干の不安を感じていましたが、特に問題が発生することはなく無事役目を終えました。



↑ ハンティング準備中の当会副会長・JH7RVR
泥縄状態??? … なんとかセーフ!



↑ 第50回記念の豪華賞品(ハンディ機)当選者は
当会会員のJH7FBX(左) … めでたし!

競技結果は下表のとおりです。（＊競技開始時刻は10：00です。）

順位	チームメンバー	FOX 1 発見時刻	FOX 2 発見時刻	所要時間 (分)
1	J S 1 G V Y	11：16	10：46	76
2	J J 1 S P Q	10：26	11：22	82
3	J G 1 F P D ・ J P 1 A W P	10：40	11：27	87
4	J G 1 M V L	10：36	11：29	89
5	J L 1 B L S	11：04	11：34	94
6	J N 1 B O U	11：13	11：52	112
7	J F 1 C J H	10：55	—	55
8	J H 1 S F E	11：10	—	70
9	J H 7 R V R	11：46	—	106
—	J G 1 T R Y	—	—	—
—	J H 7 K F Q	—	—	—
—	J A 7 K T X ・ 大森	—	—	—

1 エリヤから参加の皆さんが上位を独占し、当クラブ員（ピンク色）のチームは、残念ながらいずれも振るわない成績でした。



↑ 解散前に参加者と運営者一同で記念撮影

● マラソンコンテスト … 8月1日～8月31日

昨年から8月に実施することにしたマラソンコンテストは、今年も昨年と同じ時期・同じルールで開催中です。

開催期間は残すところ10日余り（事務局だより発行日現在）となっていますが、会員の参加局は今のところ4～5局にとどまっているようです。

参加（エントリー）して頂いた全ての方に参加賞（粗品）も進呈されますので、普段あまりオンエアーしていない方もこの機会にオンエアーしてみたいはいかがでしょうか？。無線設備の動作確認や、会員とのコミュニケーションを図る意味でも、オンエアーいただければF Bかと思います。

なお、交信は通常の内容でレポート交換だけでもOKです。コンテストナンバーの交換などの特別なこと、難しいことは何もありません。また交信数が少なくても問題はあります。

※ 詳細は7月8日付で出しました案内で確認願います。当クラブのWebページでも確認可能です。

2025年9～12月の活動予定

期日・曜日	事業名	会場
R7. 9. 5（金）	定例会	中田農村環境改善センター
R7.10. 5（日）	オンエアーミーティング	-----
R7.10.19（日）	移動運用／体験運用	未 定
R7.11. 8（土）	親睦会（移動定例会）	未 定
R7.12. 5（金）	定例会及び役員会（次年度総会等について）	中田農村環境改善センター

☛ 登米市の総合防災訓練は9月20日（土）に石越で行われる予定のようですが、当クラブへの参加要請等の連絡は来ていません。佐藤副会長（JH7RVR）が把握した情報では、「当クラブへの参加要請はない」とのことです。

☛ 11月は親睦会を予定しています。その日時は参加希望者の都合等により変更する場合がありますのでお含み置ください。なお、親睦会が諸事情で中止となった場合に限り、通常の定例会またはオンエアーミーティングを行います。

「JARL 宮城県支部ハムの集い」が開催されます

今年度は9月14日（日）に色麻町で開催される予定となっています。

詳細は同封しました「JARL 宮城県支部だより」の1ページをご覧ください。

※「JARL 宮城県支部だより」は、JARL会員であっても宮城支部からは送付されません。そのため、当クラブ事務局で全会員分（JARL非会員も含む）を印刷し配布致します。

（「JARL 宮城県支部だより」は下記WEBサイトからダウンロードできます。

JARL 宮城県支部 <https://www.jarl.com/miyagi/> ）

訃 報 JARL 宮城県支部長 JA7UQB 佐藤雄孝氏 事故死

ミヤギテレビや東北放送など各社の報道によると、2025年7月21日（月・祝）午後、駒ヶ峰無線中継所（宮城県石巻市）の船舶用受信塔で整備作業を行っていた、仙台市青葉区の無職男性（81歳）が落下し死亡する事故があった。関係者からの情報で、亡くなったのは一般社団法人 日本アマチュア無線連盟（JARL）宮城県支部長の佐藤雄孝さん（JA7UQB）だったことが判明した。（ここまで「アマチュア無線総合ニュースサイト Hamlife.jp」より転載）

JARL 宮城県支部の Web サイトには以下のとおり計報が掲載されています。

『佐藤様は 25 年以上の長期にわたり宮城県支部長を務められました。7 月 20 日に開催された「2025 サイエンスデイ」におけるイベント出典においては会場で陣頭指揮をとられ、ブースに来場の子供達に、熱心にアマチュア無線の楽しさを説明していた姿が最後となりました。長期間にわたり支部活動にご貢献いただき、改めて感謝申し上げますとともに、ご冥福をお祈り申し上げます』

豆知識：M 型コネクタと UHF 型コネクタの違い

1930 年代に米国で開発された同軸コネクタは、当時ウルトラ HF (UHF) と言われていた周波数（現在の 30MHz 以下の周波数）用ですが、その後も名前は変わらず「UHF 型コネクタ」と呼ばれ、現在も欧米の HF・VHF 用の標準コネクタになっているようです。その結合ネジは 5/8 インチネジ（公称外形 15.85mm）です。

日本では、その UHF 型コネクタに準じたコネクタとして、外形 16mm のメートルネジを使用したコネクタが生産されていて、メートルネジ（Mネジ）であることから「M型コネクタ」と呼ばれています。

以上のように、M型コネクタは日本独自の設計で、日本固有の呼び名です。よって、インチネジの UHF 型コネクタと、メートルネジの M 型コネクタは、似て非なるものです。

ところが、インチネジの UHF 型コネクタを、「(インチネジの) M 型コネクタ」と称して売られている場合が多く、購入者を困らせることになっています。

なお、最近の日本製のトランシーバーやアンテナチューナー等のジャック（メス側）は、M型プラグに対しても、UHF 型プラグに対しても、ネジが噛んで使用できるらしいですが・・・（本当かな？）。

MコネクタとUHFコネクタのネジ比較

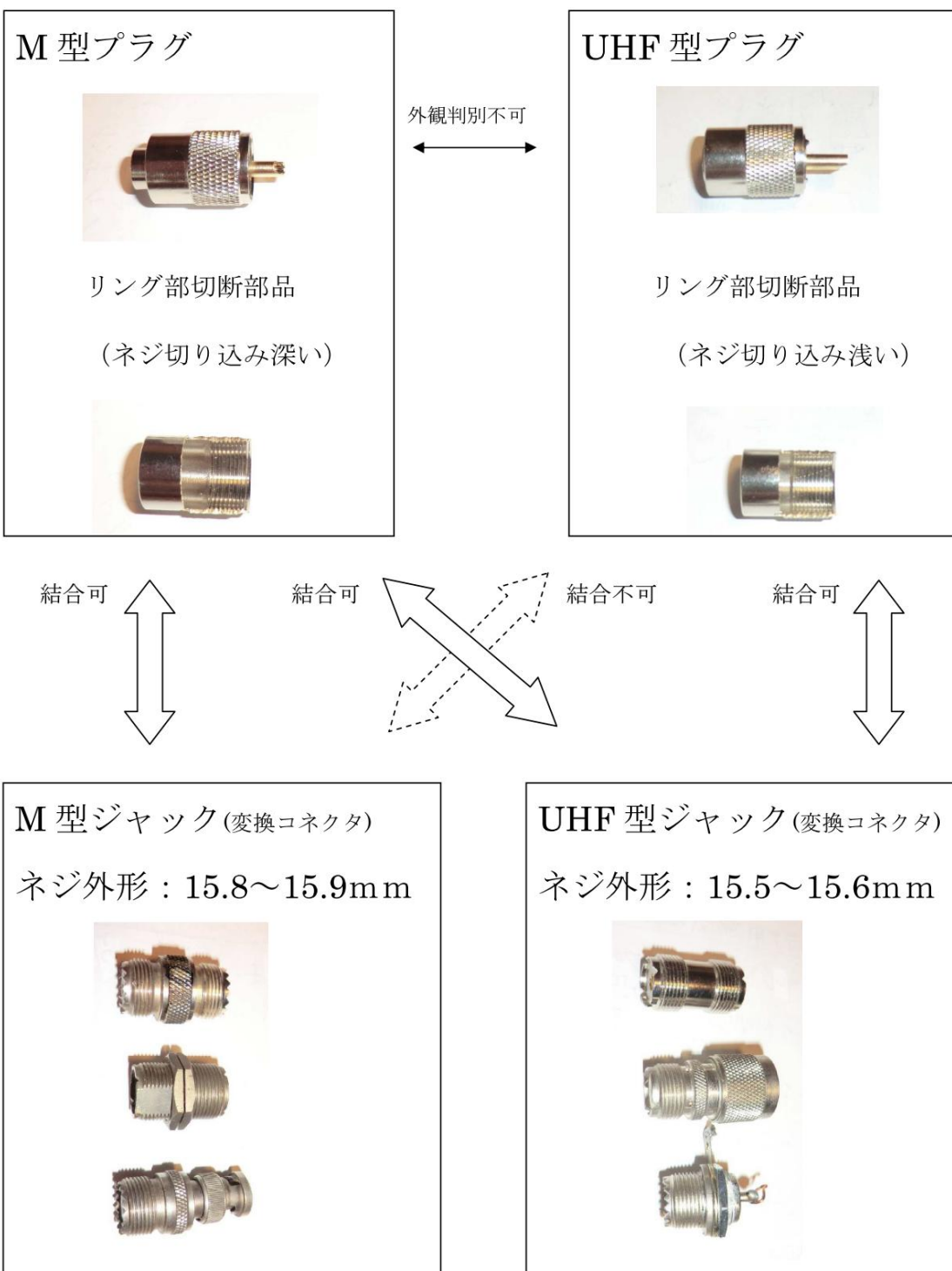
項 目	M型コネクタ	UHF 型コネクタ	備 考
ネジ外径 公称値？ 実測値	16.0mm 15.8～15.9mm	15.85mm (5/8 インチ)	ジャックの外形を ノギスで計測
ネジピッチ 実測値	1.04mm	1.08mm	ネジの 5 ピッチを ノギスで計測し算出

メートルねじの M 型プラグは内径が大きいので、インチネジの UHF 型ジャックにもはまり、固定することができます（ピッチに関しては、その差が小さいので問題ない）。結果、相互の結合の可否は下記ようになります。 ※次頁に図解もありますので参照願います。

- ① M型プラグとM型ジャック ・ ・ ・ ・ ・ 結合可（これは当然ですね）
- ② UHF 型プラグとUHF 型ジャック ・ ・ ・ 結合可（これも当然です）
- ③ M型プラグとUHF 型ジャック ・ ・ ・ ・ ・ 結合可
- ④ UHF 型プラグとM型ジャック ・ ・ ・ ・ ・ 結合不可

以上、話としては上記のとおりなので、プラグは「メートルネジの M 型プラグ」を使うのが無難だということになります。しかし問題は、通販等で「M 型プラグ」を購入した際に、それが実はインチネジのプラグ（つまり UHF 型プラグ）だということがあり得ることです。

困ったものですが、規格が統一されるような話も無いようですので、現状が続くことになりそうです。



※ 以上、出典は JA3KIO・満田OMのPDFファイル「2017.7.27 M型コネクタとUHF型コネクタについて」からです。

Google ストリートビューに JA7IUX が !

昨年の9月にJA7IUXの兄(JA7FBB 仙台在住)から知らせが!。何かと思ったら筆者(JA7IUX)が自宅の屋根上でアンテナの設置作業をしている様子がGoogle ストリートビューに掲載されているとのこと。すぐさま確認してみたら、まさしくその通りでビックリ仰天です。いや〜〜、こんなこともあるんですね。(次頁の画像がそのキャプチャーです。)

ちなみにその時の作業内容は、衛星通信用アンテナのグレードアップ(市販の八木アンテナから自作のクロス八木アンテナへの交換作業)でした。



CQ Ham radio 2025 年 7 月号の「第 70 回 以心電信」の記事中に【ソルフェジオ周波数と CW 受信ピッチ】というものがありません。ソルフェジオは音楽理論の用語で音階を意味するそうですが、その音階の中の「528Hz」は「奇跡の周波数」や「愛の周波数」と呼ばれるそうです。いろいろと研究されているようで、人が 528Hz の正弦波音を聞くと、

- ・収縮期血圧が平均で 5 から 7mmHg 低下（特に高めの人ほど大きく低下）
- ・唾液中のコルチゾール値の有意な減少（＝ストレス緩和）
- ・副交感神経活動の上昇（心拍変動 HF 成分の増加）

などの生理的変化が生じるとのことです。つまり 528Hz の音を静かに聞くだけで、短時間で「リラックス反応」が起きるというわけです。

当方はこれまで、電信（CW）の送受信音のピッチは 600Hz にしていたのですが、このソルフェジオ周波数を知ってからは、それとほぼ同じ周波数の 530Hz に変更しました。CW は断続音ですし、実際の運用時にはノイズや QRM（混信）交じりの音を聞いていますから、CW 音のピッチをソルフェジオ周波数にする意味があるかどうかは分かりませんが、まあ、加齢とともに聞きやすいピッチも下がってきていますので、良いことがあっても悪いことはないでしょう。

皆さんも試してみてもいいのではないでしょうか？

Let's enjoy "Ham life" Aki

事務局 三浦明彦（JA7IUX）
〒987-0602 中田町上沼字大泉門畑 55-1
ホームページ：http://www.jarl.com/tome/
E-mail：ja7zyk@jarl.com
TEL：0220-34-4986